



茜の空

令和6年度 第10号

発行日 2月4日(火)

練馬区立石神井南中学校

校長 木原 賢三

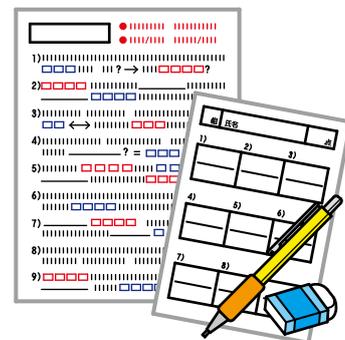
なぜ、学ぶのか

校長 木原 賢三

新年が明け、1か月余りが過ぎます。校舎内には、中学生らしい力強い書初めが展示され、一人一人の新しい年への強い決意を感じさせます。多様な個性が表された一枚一枚の言葉には、生徒たちが1年間、石南中で真剣に学んできた成果が表されています。また、3年生にとっては、いよいよ学びの集大成の時期を迎え、自分の希望の進路を決定する時がきています。どの生徒も真剣な様子で学んでいる姿に3年間の成長の「証し」を感じるとともに、たくましさを実感します。ぜひ、全ての生徒が希望の進路を実現させ、「15の春」を笑顔で迎えられることを期待しています。

さて、「なぜ、人は学ばなければならないのでしょうか。」人は、入学試験に合格するためやテストでよい点数を取るためだけに学ぶわけではありません。

作家の池田晶子さんは、著書『14歳の君へ どう考えどう生きるのか』の中で、「国語、数学、理科、社会、英語どれも勉強することにはそれなりの意味がある。それぞれが、それぞれの仕方、この世界のことを知ろうと探求しているものだからだ。そして、世界に自分の関係のないことはないのだから、『世界を知る』ということは、『自分を知る』ということだ。『自分を知る』ことでこそ、人間は賢くなることができる。暗記するだけの勉強がつまらないのは、それで自分が賢くなったと実感することができないからだ。自分で考える勉強は面白い。自分の頭で考えるということは、本当に面白いことなんだ。どうして面白いかという、考えれば、知ることができるからだ。知るといふことの喜び、自分が賢くなることの実感、これが人を夢中にするんだね。」と、語っています。学ぶことにより、昨日まで知らなかった新しい世界を知ることができるようになります。そして、新しい世界において、「自分とはどのような人間なのか」「自分らしく生きるとはどのような生き方なのか」を探求することを通して、昨日までとは違う新しい自分を知ることにつながります。「考えれば知ることができる。」子供も大人も「そのことはどういうことなのか」という本質を知るために、どこまでも考えていくことが大切なのだ、生徒の学ぶ姿から私も学んでいます。



本校では、全ての教育活動を通して、変化の激しい予測不可能な未来社会を自立的に生き、自らの可能性を發揮し、様々な仲間とともに協働しながらより良い社会を切り拓き、未来の創り手となるための「生きる力」を育むことを目指しています。そして、「自分探し」に取り組み、学ぶ喜び、分かる楽しさを実感し、学び続ける主体的な生徒を育てていきます。本校の教育活動について、保護者の皆様のご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

令和7年度における学校給食費の無償化について

先月配付いたしましたプリント(「令和7年度における学校給食費の無償化について」)でお伝えしておりますが、練馬区では令和6年度から第1子を含めた学校給食費の無償化を実施しており、令和7年度につきましても学校給食費の無償化を実施いたします。

対象者は区立小中学校に在籍している児童生徒で、住所、対象世帯の収入等の要件はありません。また、学校で申請等を行いますので、保護者が申請する必要はありません。詳細は配付のプリントをご確認ください。

表彰

◆吹奏楽部

第58回 東京都中学校アンサンブルコンテスト 銀賞

◆練馬区いじめ防止ポスター 入選 1年1組 □□ □□

◆第59回 練馬区中学校連合ダンス発表会 題名「森の豊かさ」 1年2組



東京都公立学校美術展覧会 出品生徒の紹介

令和7年2月14日(金)～18日(火)

※2月17日(月)は休館日

会場 東京都美術館 LB階

第74回東京都公立学校美術展覧会

東京都の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒の代表作品が、校種を越えて一堂に会する展覧会です。

書写 「輝ける未来」 3年3組 □□ □□

美術科 「日本の文化ポスター」 3年2組 □□ □□ 3年3組 □□ □□

技術科 「木工製品 三角コーナー」 1年1組 □□ □□

「木工製品 リモコンスタンド」 1年2組 □ □□

家庭科 「刺し子」 2年1組 □□ □ 2年3組 □□ □□□

第72回 練馬区小中連合書初め展

1月25日(土)・26日(日)の2日間、区の連合書初め展が開催されました。今年度は、練馬区立美術館が改築中で使用できないため、例年より大幅に規模を縮小し、小学校・中学校が別会場での実施となりました。中学校の部は、石神井公園区民交流センターで実施され、2日間で延べ473名の来場者がありました。

出品生徒 3年1組 □□ □□□

2年3組 □□ □□

1年1組 □□ □□



また、冬休み中に生徒たちが書いた書初めが、各教室内に展示されています。各学年の金賞、銀賞、銅賞の受賞者生徒は以下のとおりです。

金賞 □□ □□(1-1) □□ □□□(1-2) □□ □□(1-3) □□ □□(1-3)

□□ □□(2-1) □□ □□(2-2) □□ □□(2-2) □□ □□(2-3)

□□ □□(3-1) □□ □□□(3-1) □□ □□(3-2) □□ □□(3-2)

銀賞 □□ □(1-1) □□ □□(1-1) □□ □□(1-2) □□ □□(1-3)

□□ □□(2-1) □□ □□(2-1) □□□ □□□(2-3) □□ □□(2-3)

□□ □□□(3-2) □□ □□(3-3) □□ □□(3-3) □□ □□(3-3)

銅賞 □□ □(1-1) □□ □□(1-2) □□ □□(1-2) □□ □□(1-3)

□□ □□(2-2) □□ □□(2-2) □□ □□(2-4) □□ □□(2-4)

□□ □(3-2) □ □□(3-2) □□□ □□(3-3) □□ □□(3-3)